

平成24年 秋の叙勲

平成24年秋の叙勲は11月3日に発表されました。能登町からは地方自治、教育、消防の各分野で、その進展に尽くしてきた3人が栄えある受章となりました。受章した皆さんの功績を紹介します。



【旭日双光章】 竹中初男さん (71) = 鴨川

竹中さんは、昭和58年4月に柳田村議会議員に初当選し、長年にわたり地方自治に携わってきました。

合併によって能登町が誕生したあとは、能登町議会議員として新町の基礎づくりに励み、平成18年10月までの通算7期23年6カ月間にわたり地方自治の発展に尽力しました。

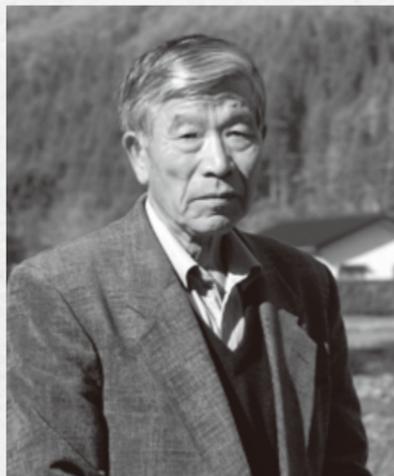
平成9年5月から平成11年4月までの間、柳田村議会議長、副議長を歴任したほか、平成3年5月からの4年間は、能都町柳田村環境衛生組合議会議長を務めるなど、要職を歴任しました。



【瑞宝双光章】 松本博さん (74) = 小木

「人は誰でも、認められ信じられると気力がわいてくる」。38年間の教員生活で、子どもの良い面を褒めて育ててきたという松本さん。小学校長や能登少年自然の家所長を務めたほか、能登町の初代教育長として教育環境の整備、充実にあたりました。

今後は「若い人を信じ、見守り、必要があれば協力・助言したい」と話し、学校と地域社会が一体となり、子どもが切磋琢磨して成長できるような教育環境を整え「心身共にたくましい子どもを育ててほしい」と若い世代の活躍に期待を寄せました。



【瑞宝単光章】 平紀明さん (72) = 中斉

平さんは、消防団員として40年、地域の安全を守り続けてきました。活動は消火や救助にとどまらず、女性防火クラブの組織づくり支援や、予防・啓発活動にも尽力しました。平成6年には柳田村消防団副団長として団員の指揮にあたり、重要な役割を担いました。

民生委員・児童委員としても約30年間活動を続けた経験から「一人暮らしのお宅が増えてきたので、特に注意していただきたい」と福祉の視点でも地域の安全を気遣います。消防団に従事する人が減ったことに対しては「私なりに努力したい」と述べ、活動の支援に意欲を見せました。

能登町 顕彰表彰

11月3日、能登町が行う表彰の中で最高位に位置づけられる「能登町顕彰条例に基づく表彰」が役場能都庁舎でありました。公共・産業、文化、行政の各分野で活躍し、長年にわたり町の発展に力を注いだ3人が表彰を受けました。

【公共・産業】

はまがみ 濱上洋一さん (79) = 松波

濱上さんは、昭和30年に小型定置網漁業を営み、以来長年にわたって漁業振興に尽力しました。沿岸漁業、特に省エネルギー漁業ともいえる定置網漁業に着目。省人化による経営合理化を図り、漁具改良や効率的漁法の開発、高鮮度保持などの研究と実践を積み重ね、地域の漁業振興に大きく貢献しました。

昭和40年6月には、内浦町漁業協同組合の監事に就任。当時の3組合の合併、内浦漁業協同組合の設立に関わり、昭和50年6月から平成18年までの31年あまり、組合長理事として組織の発展に尽くしました。



【文化】

むかいとうげちりゅう 向峠智隆さん (77) = 当目

向峠さんは、昭和62年に当目公民館長に就任。「猿鬼伝説」を素材とした地域おこしに取り組みました。同年、公民館が主体となって「猿鬼歩こう走ろう健康大会」をスタートさせ、平成14年からは大会長に就任。大会を参加者千人を超える規模に育て上げました。今年は26回目の大会が盛大に開催されました。

平成8年には「全国鬼サミット」を開催、成功に導いた向峠さん。平成18年からは、町観光ボランティアガイド協会副会長も務め、猿鬼伝説の語り部として地域に伝わる伝説の継承に努めています。



【自治】

山本研さん (76) = 太田原

山本さんは、昭和55年に能都町議会議員に当選。以来平成18年までの8期26年6カ月の間、地方自治の発展に貢献しました。

昭和63年3月から平成2年3月までは能都町議会副議長、平成12年3月から平成14年6月までの2年3カ月間は、議長として町政の推進に努めました。

平成15年1月からは、能都町・柳田村・内浦町合併協議会委員として新町発足に尽力し、厚い信頼と抜群の調整力をもって能登町誕生に大きな功績を残しました。



干し柿作り体験
秋の風物詩を自分たちで作る

小木小学校の4年生14人が10月26日、真脇遺跡縄文館で干し柿作りを体験しました。職員から作り方の説明を受けた児童らは、早速渋柿4個を手に取り、ピーラーを使って皮をむきました。中には渋柿をかじってみる児童もあり、あまりの渋さに顔をゆがめていました。むき終わった柿を麻ひもでむすび、縄文館の軒下につるした児童ら。約1カ月後の干し柿完成を心待ちにしているようでした。



はしごに登り、慎重に渋柿をつるす児童

大鏡餅を披露する小垣の「おやっさま」



鶺鴒川のイドリ祭り
餅をいどって今年を笑い飛ばす

県指定無形民俗文化財「鶺鴒川のイドリ祭り」が11月7日、鶺鴒菅原神社で行われました。「イドリ」は悪口を言うなどの意味で、11月1日から8日まで行われる新嘗祭の一つです。今年の当番が作った直径約1.2mの大鏡餅が中央に運ばれると、その餅を持ち帰る来年の当番が持ち上げて披露。「形が悪い」「色が黒くておらのかーか（奥さん）みたい」などユーモアたっぷりにいどりが、来年の当番に引き継がれました。

入講式で決意を述べる新出浩二さん



里山里海マイスター1期生入講式
能登の新時代を担う人材を育成

能登の次世代の担い手を育てる能登「里山里海マイスター」育成プログラムの第1期生入講式が10月20日、珠洲市の金沢大学能登学舎で行われました。育成プログラムは金沢大学と奥能登4市町などの連携による事業で、1期生は41人。桜井勝金沢大学副学長が式辞を述べ、受講生を代表して新出浩二さん（越坂）が「新時代の能登の魅力を世界に発信できるよう努力していく」と決意を示しました。

第8回能登町民文化祭
日ごろ磨いた芸を披露



華麗な舞踊を披露する陽恵津会松波教室の皆さん

第8回能登町民文化祭が11月3日と4日の両日、内浦運動公園内の各施設を会場に開催されました。内浦体育館で展示された芸術部門は、約450人が出品。多くの方が鑑賞に訪れていました。25の個人や団体が日ごろの練習の成果を披露した芸能部門は内浦第二体育館で発表されました。今年は特別出演として民謡の南部亮子さん（松波出身）と真澄さん親子が出演。ソーラン節など7曲を披露し、会場を盛り上げてくれました。



見事な作品が並んだ芸術部門

ま
ち
の
出
来
事

第4回能登国際交流サロン
日露戦争の新たな事実に触れる

今年度4回目の国際交流サロンは10月16日、役場能都庁舎で開かれ、日露戦争の際に流れ着いたロシア兵の遺体に関する資料が公開されました。

資料は明治41年に石川県が内務省に宛てたもので、国立公文書館が保管する文書の写し。遺体の発見日時や埋葬場所、所持品などが記載されており、慰霊碑がある町内の3地点に加えて、矢波の海岸にも遺体が漂着していたことが明らかになりました。



関係地域の町内会長や公民館関係者などが集まった

里山里海交流・小木中つなぐプロジェクト
世界に一枚だけの卒業証書を

柳田中学校との交流プロジェクトを進める小木中学校3年生16人が小間生公民館を訪れ、卒業証書に使う「久田和紙」づくりの作業を開始しました。

作業初日の11月9日は、公民館近くの山に自生するコウゾを刈り取り、皮を剥ぐための蒸し器に入るように長さを切りそろえました。これから冬にかけて、みわ会の協力を得ながら、柳田中学校3年生と共同で作業を進め、手すき和紙の卒業証書作りに挑みます。



みわ会会員の指導を受け、コウゾを刈り取る生徒

国定教科書を朗読する鶺鴒川小児童



久田船長受難110年記念碑前祭
勇気ある行動に思いを巡らせる

104人の乗員乗客を救うために自ら犠牲となった久田佐助船長の遺徳をしのぶ碑前祭が、事故が発生した10月29日、鶺鴒川の菅原神社境内の久田船長碑前で行われました。

久田船長顕彰会が主催の碑前祭は、今回で110回を数えました。鶺鴒小、中学校の児童生徒や地域の人など100人を超える人が集い、船長の偉業が描かれた唱歌や教科書朗読をし、郷土の偉人の行動を称えました。

ニュース 全国和牛能力共進会

なかひめ138号(中瀬晴夫)が県代表に

5年に一度開催される和牛のオリンピック「全国和牛能力共進会」の第10回長崎県大会が10月25日から5日間の日程で開催されました。

10月23日には、石川県代表として若雌2区に出場した中瀬晴夫さん所有「なかひめ138号」の出発式が行われました。能登和牛改良組合長を務め、2大会連続の出品となった中瀬さん。前回よりも順位を上げ2区の2等賞2席という結果でした。



能登牛の代表として全国の舞台に立った「なかひめ138号」

お願い 除雪作業にご協力を

除雪作業に関する要望はまず区長へ

町道は国・県道に比べると幅員が狭く、除雪機が入らない道路があるなど完全な除雪ができないことがあります。



除雪が順調に進むよう、次のことに注意してください。

- ①自動車の路上駐車・路上放置は絶対にしないでください。
- ②除雪機の前後に飛び出したり、進行の妨げにならないようにしましょう。
- ③屋根雪や住宅前の除雪は各自で行ってください。
- ④狭い路地などは町内のみんなで除雪しましょう。
- ⑤道路(特に通学路・歩道)に面する屋根には、雪止めをして事故防止に努めましょう。
- ⑥各町内にある消火栓・防火水槽・ごみ収集箱付近の除雪は町内みんなでいきましょう。
- ⑦除雪に際して、やむなく民地へ雪を押し出す場合もありますがご容認ください。
- ⑧除雪に関する問題については、まず区長・町会長までご相談ください。

☎建設課 ☎ 76-8304

ニュース 能登町社会福祉大会

支え合う社会の実現を目指して

第4回能登町社会福祉大会は10月26日、能都庁舎で開催され、福祉関係者約150人が地域福祉の進展に向けて気持ちを新たにしました。

式典で能登町社会福祉協議会長表彰を受賞した皆さんは次のとおりです。(敬称略)

〈社会福祉事業従事者〉・本崎恵美子・餅木絹代・田端博美・桶田昌伸・谷内裕子・真脇美恵子・畑口留美子・高広展・狭間映志・山下正美・新谷裕子・山崎裕美・向井佐和子

〈社会福祉事業関係団体役員〉

・坂下静子・棚本哲三

〈身体障害者自立更生〉・灰谷誠司

〈ボランティア活動者・団体〉・河村喜久子・田町すずらん会・新町ふれあい会・まんてん食堂不動寺会



障害者自立更生で表彰を受けた灰谷誠司さん(小木)

募集 能登町エンデバーファンド21

25年度の申請受け付けが始まります

「公益信託能登町エンデバーファンド21」は、まちづくり活動に取り組むグループなどに対し、その企画内容に応じて助成を行います。申請はそれほど難しくありませんので、気軽に提出してください。

〈助成事業の内容〉

- ①まちづくり活動の調査研究
- ②地域の環境保全・改善などのまちづくり活動の企画や活動の実施
- ③まちづくり活動に取り組むグループ相互間の交流や情報交換など
- ④地域振興・観光振興などのための施設整備

〈受付期間〉 12月10日(月)～1月31日(木)

〈申請方法〉「助成事業申請書(第1次審査用)」に必要事項を記入し、興能信用金庫本店営業部に提出してください。申請用紙は同金庫にあります。

☎役場企画財政課 ☎ 62-8503

興能信用金庫本店営業部 ☎ 62-1122

(株)しんきん信託銀行 ☎ 03-3564-8465

【能登町役場】☎62-1000(代)

能都庁舎 (℡62-4506)

総務課 ☎ 62-8510

企画財政課 ☎ 62-8503

監理課 ☎ 62-8504

税務課 ☎ 62-8505

環境対策課 ☎ 62-8507

町民課 ☎ 62-8500

能都サービス室 ☎ 62-8500

ふるさと振興課 ☎ 62-8532

会計課 ☎ 62-8509

柳田庁舎 (℡76-0039)

広報情報推進課 ☎ 76-8301

農林水産課 ☎ 76-8302

柳田サービス室 ☎ 76-8300

農業委員会 ☎ 76-8303

建設課 ☎ 76-8304

内浦庁舎 (℡72-2108)

健康福祉課

(児童保育) ☎ 72-2512

(医療介護) ☎ 72-2502

(福祉庶務) ☎ 72-2503

(健康推進) ☎ 72-2504

(包括支援) ☎ 72-2513

内浦サービス室 ☎ 72-2500

上下水道課 ☎ 72-2507

教育委員会事務局 ☎ 72-2509

議会庁舎 議会事務局 ☎ 76-8310

ニュース 能登町ふるさと大使

抒情書家・室谷文音さんを大使に再任

抒情書家・室谷文音さんの「能登町ふるさと大使」任命式は10月24日、役場能都庁舎で行われました。

室谷さんは英国留学などを経て平成18年、同じく書家の両親と京都府から能登町へ移住。アトリエを構える自宅と欧州を拠点に創作活動を続けています。任命式で室谷さんは、「能登町は日本でのふるさと。海外の友人にも町の良さを伝えていきたい」と持木町長に語りました。



ふるさと大使の委嘱状を受け取る室谷さん

ニュース 能登町防災講演会

「釜石の奇跡」から津波防災を学ぶ

宮城県釜石市で8年間、防災教育に取り組んできた群馬大学大学院の片田敏孝教授の防災講演会が11月11日、内浦第2体育館で開催されました。

石川県PTA連合会地区別研究指定発表会の記念講演を能登町が共催として実現。会場にはPTA関係者や消防関係者など約400人が集まりました。片田教授は「子どもたちへの防災教育には家庭や地域が果たす役割はとて大きい」と訴えました。



釜石市で実践してきた防災教育について語る片田教授

ニュース 流山市訪問団

井崎流山市長が訪問団を熱烈歓迎



10月27日から28日にかけて、千葉県流山市と能登町の姉妹都市締結を記念した「第1回流山市民まつり見学ツアー」が実施されました。

ツアーには町民23人が参加。市民まつり会場では井崎義治流山市長(写真中央)の熱烈な歓迎を受け、そのあと参加者たちは全国各地の特産品が並ぶ販売店を見学しながら交流を深めました。

ニュース 宝くじ助成金

宝くじ助成金で本木区が除雪機整備

財自治総合センターが行う「コミュニティ助成事業」の助成を受けて、本木区が除雪機、除雪機保管庫などを整備しました。



この事業は宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動備品の配備などに対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることを目的として行われています。



能登町の可能性を広げる、大学との連携・協力が進んでいます。

小木の活性化に若い知恵

小木地区の活性化をテーマに活動している金沢星稜大学・吉川顕磨ゼミの学生20人は11月10日、役場小木支所で町民に研究成果を発表しました。

学生たちは2班に分かれ、能登海洋深層水施設と地域ブランド品開発の課題を報告。海洋深層水の活用への提言では、食品加工だけでなく、入浴や化粧品への利用例も挙げて「成分を分析し、医療分野にも生かしてほしい」と意見を述べました。



海洋深層水の利用方法を提言する吉川ゼミの学生たち

東海大学「代々木建学祭」で能登町を紹介

11月2、3日に開催された東海大学代々木キャンパスの「建学祭」で、能登町食材を利用したカフェが登場し、学生らが景勝地の写真を見ながらブルーベリーワッフルなどを賞味する姿が見られました。

これは、観光学部の服部泰ゼミ生が企画した「能登カフェ」。8月に町で合宿をした時に撮影した景勝地や施設、体験の様子を紹介し、能登海洋深層水で入れた美味しい紅茶なども販売されました。



服部ゼミの会場では「能登はやさしや水までも」を販売

お知らせ いしかわ302スポーツ運動

冬場でも、30分の運動を週2回!

冬場は外出するのも面倒になり運動不足になりがちです。運動不足は筋力低下はもちろん、血液循環も悪くなり冷えの原因になるとも言われています。

雪の降るこれからの季節でも、体育館やウインタースポーツで気持ちの良い汗を流してください。

「いしかわ302スポーツ運動」の記録用紙は各体育館、各公民館にも置いてあります。最低30分の運動を週に2回。継続して行う習慣を身につけましょう。11月15日現在までのいしかわ302スポーツ運動達成者を報告します(敬称略)。

〈100日銅バッジ〉・中谷弘吉・綱屋美和子・高木米子・浅見敏夫・橋本茂・中町美喜子・磯松多喜子・小蔵澄子・持平はま子・大黒則夫・浅見裕子 他13人
 〈200日銀バッジ〉・中谷弘吉・大黒則夫 他5人
 ※公表の許可をいただいた人のみ掲載

消防 住宅用火災警報器

つけましたか? 住宅用火災警報器

火災から大切な家族を守るために、住宅用火災警報器を設置しましょう。平成20年6月1日から既存住宅にも設置が義務づけられています。



火災の事例



天ぷら油を加熱したままその場を離れたため、鍋から火が上がり警報器が熱を感知。警報音に気づいた居住者が初期消火と119番通報を行った。

2階寝室で寝ていた男性は、1階からの警報音に気づいた。1階へ降りると祖母の部屋の仏壇から炎が上がっているのを発見。水道水をかけて消火した。

悪質な訪問販売にご注意ください! 消防署や自治体が「住宅用火災警報器」の訪問販売、特定の業者へのあっせんや販売を依頼することはありません。

納期 税金/保険料

今月の納期限は12月25日(火)です。

〈税金〉固定資産(都市計画)税 第3期
 国民健康保険税 第6期
 〈保険料〉介護保険料 第6期
 後期高齢者医療保険料 第9期

満天星 イベント情報

のぞくプラネタリウムを作ろう!

のぞいて見る少し変わったプラネタリウムを作りましょう。(予約不要)

〈日時〉12月23日(日) 14:00~14:40

〈料金〉材料費1個100円

満星の観察館「満天星」 ☎76-0101



宇宙の人類者 まんてん飯面

税金 税務課からのお知らせ

所得の申告は忘れずに!

年が明けると平成24年分の確定申告の時期がもうすぐです。所得の申告をしないと国民健康保険税などの軽減措置が適用されないことがありますのでご注意ください。

町・県民税の申告は、国民健康保険税のほかに介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育料の決定、公営住宅入居資格審査などの資料になります。申告をしていないと「所得の有無や課税、非課税」が把握できず、それぞれの軽減措置や各種給付など行政サービスを適切に受けられない場合があります。

このため、収入がない人や非課税収入(障害年金、遺族年金など)のみの人も町・県民税の申告が必要となります。

ただし、給与所得のみで給与支払報告書が事業所から役場に提出される人、公的年金以外に所得がない場合で、公的年金支払報告書が役場に提出される人などは、申告の必要はありません。

☎税務課 ☎62-8505

消防 小木小学校1日消防士体験

小学生が消防士の仕事を体験

10月29日、小木小学校で1日消防士体験が行われました。

ポンプ車での放水訓練のほか、煙体験ハウスで模擬火災の体験、119番通報の訓練などを行いました。



防火服を身にまとい、小木分団員と放水を体験する児童

【入札結果】 広報紙では、契約金額500万円以上の入札結果を掲載しています。全入札結果は10月16日~11月15日 町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。 ☎監理課 ☎62-8504

件名	場所	担当課	契約額(税込)	落札者
梅ノ木団地2号棟 建設工事(建築)	松波	建設課	37,170,000円	(株)西中建設
梅ノ木団地2号棟 建設工事(機械設備)			9,429,000円	宝成工建(株)
能都中学校移転改築工事に伴う旧校舎解体工事(1工区)	藤波	教育委員会事務局	27,982,500円	須美矢建設(株)
解体工事(2工区)			18,459,000円	鈴平建設(株)
解体工事(3工区)			27,877,500円	(株)鼎建設
解体工事(4工区)			22,911,000円	(有)能登住建
町道2級松波1号線外1 舗装工事	松波	建設課	6,772,500円	島屋建設(株)
町道上滝の坊1号線 道路改良工事	上	建設課	5,260,500円	宝成工建(株)
町道2級宮犬秋吉1号線(寺尾橋) 橋梁補修工事	清真	建設課	11,812,500円	(株)西中建設
本木送水ポンプ場 築造工事	本木	上下水道課	12,898,200円	須美矢建設(株)
鶴川中学校 屋外教育環境整備(グラウンド)工事(その1)	鶴川	教育委員会事務局	13,597,500円	(株)葛土木
屋外教育環境整備(グラウンド)工事(その2)			15,645,000円	須美矢建設(株)
町道斉和1号線 道路改良工事(法面工)その2	中斉	建設課	7,980,000円	(有)モアグリーン
町道上4号線(新五朗河原橋)外2橋補修設計業務	上	建設課	7,140,000円	(株)国土開発センター
鮭尾地区 飲雑用水施設整備 地下水源調査業務	鮭尾	農林水産課	5,092,500円	興信工業(株)
国重地区 地下水源調査業務	国重	上下水道課	5,145,000円	(株)ホクコク地水